

進路だより 未来へむかって

発行日 平成27年7月23日
発行号 H27 7月号
<実習特集号>
発行者 新潟県立小出特別支援学校
川西分校 進路指導部

1学期もまもなく終了。夏真っ盛りの今日この頃です。前期の現場・校内実習が終わり、自分の課題を確認しながら、後期の実習に向けて意欲を高めた学期末でした。保護者の皆様からもアンケートや希望調査などたくさんの書類提出に



ご協力いただきありがとうございました。ご意見を参考にしながら、夏季休業中に実習準備をしていきたいと思います。夏季休業中にご家庭へ連絡し、相談させていただくこともあるかもしれませんが、ご協力ください。よろしく願い致します。



今回の進路だよりは前期実習終了後の特集号とさせていただきます。報告会での生徒の意見、アンケートからの保護者の皆様の意見、そして事業所の皆様からも意見をいただきました。今回は、ちょっとした本です。じっくり読んでいただければと思います。

前期の職場実習が終わりました。

7/6、久々に全生徒の登校日となり、賑やかな学校の雰囲気となりました。今回の現場・校内実習では、進路指導部の予想を上回るがんばりや成長を見せた生徒が多く、登校した生徒たちの表情も自信に満ちあふれていました。

例えば・・・

- ・校内実習の事前学習では、要求された課題に対し不安な表情を見せていた生徒が、納期に間に合うように仕事に向き合っていた姿。
- ・体調管理に課題があり、今までの予定された実習期間を経験できなかった生徒が、笑顔で全日程を経験し「この仕事楽しい」と言っただけのうれしそうな表情。
- ・身だしなみや挨拶の声の大きさに課題のある生徒が「服装と挨拶は仕事ですごく大切だと思います」と気づきと体験が一致した発言。

など素晴らしい成果がありました。

生徒たちは、自分たちの実習の様子について、グループの中で発表し合い「これからの学校生活で練習し、身に付けなければならない力」について考えました。班は全部で8班で、経験した業種が同じ生徒たちで、それぞれの班を構成しました。

実習を振り返り、課題を確認し、これからの後期の実習に向けて決意を新たにしようです。

それぞれの班(生徒たち)の話し合いの様子です。

○1班は1組の生徒たちです。(引率した先生方が様子を見たり、話を聞いたりした内容でした。)



各事業所に一人で実習に行きました。クラスの仲間はいなかったけど、利用者の皆さんといっしょに作業や活動してきました。落ち着いて作業をしたり、大きな声で報告をしたり、決まった時間活動を続けたり、利用者や仲良く楽しんだり、生徒一人一人が自分のできることや課題になっていることをがんばった実習でした。後期に向けて学校でも色々な体験をしていきたいと思っています。



○2班は福祉作業所に実習にいった生徒です。

実習先で大切だ、できるようにならなければいけないと思ったことは、大きな声で挨拶、報告、返事をする、集中して最後まで仕事をする、どんな仕事も一生懸命やる気持ち、身だしなみをきちんとすること、という意見がありました。

現場の人からは、

- 「あくびをしないで集中して取り組むこと」
 - 「相手に伝わる声の大きさを伝えること」
 - 「相手の目を見て挨拶すること」
- について注意を受けました。

これからは、

- 「挨拶・返事・報告が当たり前になる」
 - 「時間いっぱい一生懸命仕事に取り組む」
 - 「身だしなみをしっかりとする」
 - 「話をしっかり聞いて、指示されたことを正確に行う」
- ということに身に付けなければいけないです。

○3班は建設業の班でした。

安全に関わることは細かく注意を受けました。

- ・ワイヤーの輪に手を入れないこと。→ 手が挟まると大けがをするから。
- ・周りの様子をよく見て注意して作業する。一般の人が歩いている気配を付ける。
- 材料や道具を運ぶときにぶつかると、けがをさせてしまうから。



仕事から体力、筋力、精神力が必要。また、早寝早起きの生活習慣も必要でした。(→重い物を一日運び続けなければならないから)

聞く前に自分でまず考えて行動し、分からない時はすぐに質問することが、とても大事でした。(→考えることで考える力が身に付き、自分でできることが増える。でも分からないままでは仕事が進まない。)

これからの生活で

- ・朝運動でしっかり走り、体力を付けること
 - ・日頃の授業で、自分で考えながら取り組むこと
 - ・分からないこと、不安なことは必ず聞きに行く、質問すること
 - ・周りの人をよく見て安全に作業すること
 - ・指示された仕事を正確にやる力を高めること
- をがんばりたいです。



○4班は部品製造の仕事を実習した生徒たちです。

この仕事は決まった製品を決められたとおり、1日作り続ける仕事でした。そのため・・・

- ・毎日同じ作業を、根気よく、集中して、粘り強く行うこと
- ・指示された通りに行くこと
- ・分からないことを質問できること
- ・(材料や道具を)大切に扱うこと

が大切でした。

現場の方からは、製品に関わる「金具の向きに気を付けること」や「部品に傷を付けないこと」、能率に関わる「スピードアップ」、仕事の把握に関わる「新しい仕事を覚えること」、「不安なことがあったら質問すること」を教えてもらいました。

これから「授業中違うことを考えずに集中すること」、「質問できるようにすること」、「同じ仕事での持久力を付けること」、「相手を見て話を聞くこと」をしっかりとやって、後期の実習もがんばりたいです。

○5班は食品製造の職場で実習しました。

この仕事は食の安全が大切で、そのために「身だしなみを整える(髪の毛をキャップから出さないこと)」、「不良品を出さない・間違えないこと(異物を入れない・間違わない)」、「丁寧に(梱包用の)箱を折る・曲がらないようにガムテープを貼ること」、「てきぱき・真剣に仕事をするようにすること」を教えてもらいました。



「食品詰めるとき、ゴミがあったら取り除くこと」、「検品時、駄目な商品をそのまま流さないこと」、「シールを貼り直すときには、ゆっくりとはがす」、「ガムテープが曲がらないように貼ること」など商品管理のことを教えてもらったり、「トイレに行っても、出勤時間に遅れない」、「休み時間に机に伏さない(具合が悪そうに見える)」など仕事に向かう姿勢について教えてもらいました。

学校で「身だしなみをきちんとすること、服装を常にきちんとしていること」、「漢字を覚えること」、「話を聞いて分からないことは質問してメモすること」、「1日働ける体力を付けること」、「挨拶、謝罪、依頼等のとき、しっかり声を出すこと」をできるようにしていきたいです。



○6班は小売・接客の事業所へ行きました。

実習先では、「お客様のために」仕事をするには次のことができなければいけないと思いました。(教えてもらいました)

- ・挨拶、笑顔、大きな声
 - 暗い感じで言うと、相手や周りの人まで暗くなるから
- ・清掃 → お客様を歓迎していることを表す
- ・能率良く → 遅いと商品がお客様に届かない
- ・身だしなみ → 恥ずかしい、変な風に思われる
- ・商品の知識 → 名前や展示場所を覚え、案内する

これからの学校生活で「笑顔で挨拶」、「声の大きさ」、「身だしなみ」、「仕事を考えて作業する」ことを身に付けていければ、と思いました。

○7班は老齢福祉事業所での実習でした。

体の弱いお年寄りがいるため、自分の体調管理(一休むと仕事ができなくなる、お年寄りの体調への影響)や、挨拶・返事・報告・質問もいつも元気で明るくしながら仕事をするのが大切だと思いました。それと利用者の方とのコミュニケーションも大切で「話の仕方」、「断り方」、「時間を守って話す」というポイントも勉強しました。

食事の準備でも「とろみの付け方」や「間違えずに食事を準備する」ことが大切でした。



現場の方からは、「質問すること」、「大きな声で返事をする」、「毎日やることは指示がなくてもできるようにする」など、仕事の基本を教えてもらいました。また「利用者さんが気持ちよく使えるようにシーツを敷く(替える)ときに、全くシワがないようにする」などコツも教えてもらいました。

これからの学校生活で「言葉遣い」、「体調管理」、「分からないところを質問する」、「返事は大きな声で」、「身だしなみ」、「体力をつける」などをがんばりたいと思います。

○8班は校内実習の経験について発表しました。

1年生は初めての校内実習・体験実習をしました。事業所さながらに納期を意識し、作業に集中して取り組みました。今回の実習では、次のことを目標にがんばりました。

- ・期限や時間(5分前行動)を守る
- ・挨拶や報告をしっかりとる
- ・服装や身だしなみに気を付ける
- ・仕事に集中する
- ・仕事は丁寧に速くする



校内実習では、サイドラインさんから仕事をいただき、ハーネスのテープ巻き(結束)、納品用ケースの検品・作成、金属フレームの入替(箱詰め)をしました。

生徒たちは「シワしわができないように手前からしっかり巻く(ハーネス)」、「水や油が付かないようにする(金属フレーム)」、「キズや折れ、割れ等がないか丁寧にみる(ケース検品)」など体験した仕事の注意点が心に残り、製品を丁寧に扱うことに大切さをしっかり学びました。

体験実習では、松乃井酒造場さんで酒粕詰め・箱作りをさせていただきました。食品を扱うこともあり「キャップや手袋などを着用するときに、衛生面に気を付ける」ということを実感できました。

実習を通して、とても大切なことに気付いた生徒たちでした。後期のふれあいジョブは、9月下旬からスタートです。時間があるように感じますが、あっという間に始まります。今回の話し合いで出された課題や自分自信の課題を確認し、しっかりと準備していきましょう。

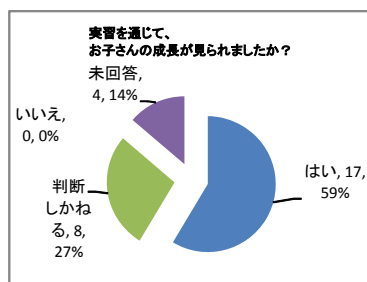
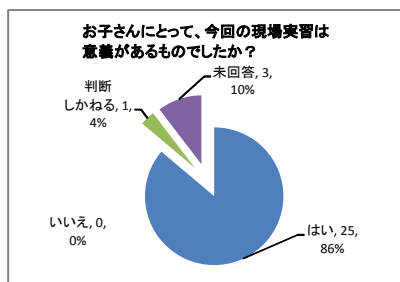
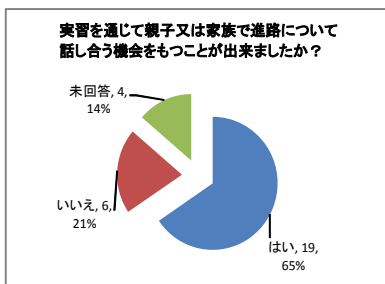


実習中のご家庭の様子は・・・(保護者アンケートから)

保護者の皆様からアンケートにお答えいただきました。ご協力ありがとうございました。内容についてお知らせします。

グラフを見ると、実際の現場での学習に意義を感じて下さっている方は非常に多くいました。進路について話し合う場面(本人・家)と、お子さんの成長の項目では、学年が上がるにつれ「はい」の解答が多かったです。進路を考える上で早すぎるということはないので、成長を確認しながら家族みんなで進路を考えていただければと思います。

次ページに記述の意見を掲載しました。お子さんの様子と照らし合わせてご覧ください。



○実習を通して、お子さんの成長が見られましたか？気付いた様子をお知らせ下さい。



・普段は「早く寝なさい」と言っても、11時頃までテレビにかじりついているのに「10時だから寝なさい」と言うと素直に応じた。本人なりに意識しているようでした。

・お礼状を自ら書こうと思っていることが、今までなかったので成長したと思いました。

・働くことの意義や、拘束された時間の中で集中力を持続させること、職場でのマナー等本人なりに習得できたと思います(まだ初期段階ですが…)。

・実習初日から2日は環境の変化に戸惑い疲れたようでしたが、作業のコツを覚え集中して取り組めていたようでした。2週間目からは事業所の人達ともコミュニケーションがとれて、休み時間も含め楽しんで通えたようでした。

・分らないことや、次に何をすればいいのか聞いてくるようになりました。

・実習1日目、施設に挨拶をかねて見学に行ったところ、近くに先生や私がいると、与えて頂いた作業を黙々とやることができました。

・やはり普通とは違うので疲れた様子でしたが、作業も自分なりに頑張っていたようでした。

・実習初日に約束した家を出る時間を2週間守られました。

・誰にでもきちんと挨拶がしっかり出来ました。朝「おはようございます」「よろしくお祈りします」、帰りは「お先に失礼します」「ありがとうございました」と頭を下げて帰りました。

・ふれあいジョブでは実習先の利用者の人数も多く、精神的に疲れた様子で、顔がこわばっていて硬い表情でした。現場実習になったらビックリするほど表情が変わり、生活リズムも整い、10:00までにはしっかり寝ることが出来ていました。立ち仕事だったため、食事もしっかり食べて仕事に臨んでいました。実習先から「仕事もテキパキと行えて1人でも任せられるので助かります」と評価を頂いて、本人も毎日楽しいと話し、今までの実習の中で一番表情が良く、やりがいを感じ、充実していたようでした。

・家に帰ってきても疲れたとも言わず、毎日頑張って実習に行っていました。

・時間を気にするようになりました。

・1人でバス停まで歩いて行き、バスに乗る事ができました。

・朝早く起きて持ち物の確認をしていました。実習から帰ると作業着と体操着を洗って干していました。時間を見て行動できていました。

・長時間集中する力が、少し身に付いたと思います。

・帰宅後1日の仕事について良いか悪いか反省しきりでした。翌日に向けて頑張ろうと、注意事項を整理していました。

・3年生になって更に進路のことを気にするようになり、自分から仕事のことを話すようになりました。天気が悪くなった時に不安がとても大きく、歩くのを心配していました。

・仕事は大変のようでしたが、楽しく仕事ができて良かったと思います。自分のやりたかった仕事もさせていただき、進路のことも考えるようになりました。



○保護者が子どもに支援をしてうまくいった支援、難しいと感じられた支援をお聞かせ下さい。

・毎朝の激励と毎晩「凄く頑張ったね。えらかったね」と声を掛け、頭をなで抱きしめてあげました。日々スケジュールや場所が異なる事から前日に行き先や行動パターンを予習しました。本人に事前に作業の内容を詳しく説明しても未経験の作業に関しては理解が難しかったようです。

・事業所での日程を書いてももらった紙を家でも確認し、途中で変更があった時も追加記入して見通しがもてたことで落ちついて過ごすことが出来ました。

・休み時間の過ごし方をどうするか課題だったが、親は何も出来ず事務所さんで対応してもらうことになりました。

・疲れていたのが早寝をしていたのですが、その他どんな支援ができたかな…と考えました。いい方法があれば…と思います。

・出発時間の確認をすることで、時間通りに家を出られた。

・体調管理に気を配っていました。

・初めて立ち仕事で立ちくらみなど心配されたので、親子で朝食をしっかり食べて目標を立てました。2週間朝食をしっかり食べて出勤する事が出来ました。



- ・朝、職場の皆さんにしっかりと挨拶して欲しいと毎日言っていたので、逆に怒ったように出掛けて行かれてしまったが、親としてはどうしても出来るようになって欲しくて、難しいところでした。
- ・挨拶が苦手なので家で(渋々でしたが)練習しました。「よろしくお願いします」とここで頭を下げる、教えてもらったら「ありがとうございました」とすぐ言う、間違えたり注意されたら「すみませんでした」などと、よく分かっていることでも慣れない雰囲気の中ではすぐ出てこないでスムーズに言えるように話しました。学校でも練習していたとのことで実習先の担当の方に「挨拶はしっかりできている」と聞いてホッとしました。



- ・親が言う注意事項はむしろ大ざっぱで良いと感じました。現場で詳しく学ぶ方が自覚が伴い責任も負う気構えが出来ると思いました。
- ・朝食が取れないのが悩みです。
- ・その日の作業内容を聞いても「○○作り」「○○貼り」だけで様子を詳しく知る事が難しかったです。
- ・挨拶をしっかりする。分からない事は聞くことを繰り返し言い聞かせました。
- ・体調を崩さないようにと親が心配しても、本人は鼻水が出るようになり、体調管理が難しかったです。

○保護者の方が学んだことや感じたことをお聞かせ下さい。

- ・特にありません
- ・本人がやりたい仕事を見つけるのは難しいと思いますが、出来る仕事や続けられる仕事を実習を通して、見付けてくれるいいチャンスだと感じました。
- ・いつまでも乳幼児の様に溺愛しながら育ててきた我が子が、もう就労に向けて本格的に歩み出したのだと強く実感いたしました。勤労は大切なこと(義務)だと理解しながらも親心としてはそんなに頑張らなくても少しずついいから長く継続して取り組めれば良いと、まだまだ子ども扱いしてしまいます(子離れが出来ないです)
- ・事業所の人達と2週間作業をしたり、昼ご飯を食べたり、休み時間を過ごしたりして、そこでの生活に順応することが早く、安心した。
- ・施設によって取り組んでいる内容や雰囲気も違うので、自分の子にその施設が合っているのかどうか親も見学させて頂き知ることが必要だと思いました。(我が子の場合自分の気持ちや考えを言葉できちんと伝える事が出来ないの)
- ・やはり施設を利用するにしても、その前後(朝と夕方)の時間をどうするか等時間のやりくりなど考えました。
- ・今回生活介護の施設での実習で、小規模な施設で知っている方も利用していて、アットホームな感じでした。生活介護のサービスを利用する事になると思いますが子どもに合った所を見付けたいと思っています。
- ・本人も大変のようでしたが、元気に実習に励んでくれました。年配の人達と話が合わなく戸惑ったようです。
- ・毎日いつもと同じリズムで過ごしていたので、本人も仕事以外ではリラックスしていたと思います。
- ・入所者の方や実習先の方と打ち解けたように感じました。
- ・本人がなかなか実習についての事を話さないことが、保護者として物足りないと思っています。
- ・1年生の時の現場実習は午前だけの経験だったのですが、今回1日通して実習を行い、卒業



- 後の生活をイメージできました。この生活サイクルを実習後も続けられたらと思っていますが、いつも実習後は生活リズムが崩れてしまいます。
- ・働かせて頂ける場があることに感謝しております。卒業後も是非働けるよう助け合って行きたいと思っています。
- ・長い実習でしたが、愚痴も言わず3週間頑張りました。
- ・家では特に不満等の訴えは無かったので、子どもにも「その場に順応していく力があるのかなあ」と感じました。
- ・朝7時半くらいに家を出て帰りは5時半過ぎでした。慣れない環境の中で疲れていると思いましたが、近くに住む姉の家に帰宅後遊びに行ったり、犬の散歩をしたりいつものようにのんびりボーッとしていました。本人もそれを楽しみにしていて、ストレス解消になり、穏やかな表情だったので、必要な時間だったと思いました。
- ・単純作業であればこなすことが出来そうな見通しがもてました。
- ・自分がどういった仕事に就くか質問することが多くなりました。
- ・親が思う仕事と子どもが考えていることが違っていました。



○実習を終えて、これからの学校生活で学んで欲しいこと、身に付けて欲しい力がありましたらお聞かせ下さい。

- ・忍耐力、持続力、生活力、集中力
- ・会社の望む仕事ができるスキルを身に付けて欲しいです。
- ・集中力が途切れたり甘えや疲れが出たりするのは仕方の無い事だと思っています。そういうことが実習の回を重ねる度に少しずつ減って進歩して行けたら良いなと思っています。
- ・自立通所が難しく、交通機関を利用出来る力が付くようになって欲しい。
- ・一人で出来ることが1つでも増えていくとうれしいです。(3)
- ・トイレとか、自分で食事をすとか、基本的なこと、他の子どもたちが普通に出来ることなどは家で教えるべきことなのでしょうが、家族に甘えが有り言うことを聞いて貰えず困っています。
- ・実習で身に付けたことをしっかりと生かしてほしいと思います。
- ・日々学校でやっていることは、卒業後かならず必要なことと頭に置いて、卒業までの1日1日を大事にして学校生活に取り組んでほしいと思います。
- ・礼儀、挨拶、我が子だけなのかもしれませんが、敬う気持ちをもって接することが出来るようになって欲しいと感じています。
- ・どんなことにも、自分で考えて行動したりしてほしいです。(2)
- ・声を出すこと。挨拶。
- ・集団生活の中で協調性を学び、相手に優しさや思いやりを示して、自分から行動していけるよう頑張してほしいです。



- ・その場、その場で忘れないようにしてほしい。次のステップにつなげて欲しい。体験を生かして欲しい。
- ・言葉遣いが悪い時があるので、学校生活で少しでも直るといいかなと思っています。

○その他、今回の実習で気付かれたこと、次回の実習や社会参加について思うことなどを聞かせ下さい。

- ・実習で教わったことを家で話してくれましたが、最初はどんな作業なのか理解してあげることが難しかったです。徐々に詳細まで説明できるようになったが、こちらも様子が分かってきました。自分の与えられた作業について考えることが出来ているのかなあと思いました。
- ・いやだとは言っても、1日も休まなかつたので社会参加には前向きだと思いました。
- ・進路先を決めるのが、とても大変だろうなと思いました。本人の考えがしっかりもてるようになるとういなと思います(やりたいこと、自分で出来ること)
- ・障がいやその子の能力によって、卒業後行ける場所も限られてくるので、「受け入れてくれる場所がもっと増えていくといいな〜」と思います。自分で施設まで行くことが出来ないの、送迎が負担に感じてしまいます。
- ・実習で社会と接触した事を大切にしたいと思います。
- ・今回の実習で仕事に対する意気込みが凄く強くなり、後期の実習も今回の実習先で仕事がしたいとやる気を見せています。1年間で、すごく本人の気持ちが変わってきて大成長を感じました。今後も応援していこうと思います。笑顔で仕事をしたことにより、施設の方、利用者さんに好印象を与える事が出来てすばらしかったと思います。家庭でもつらい事があっても笑顔だけは忘れずに支え合っている家族、それが職場でもきつとプラスになると思います。
- ・好きなこと以外にも向いている仕事があるかもしれないので、声掛けて興味がありそうなら勧めることしてみたいと思いました。
- ・仕事以外でも、まだまだ学ばなければいけないことは沢山あるし、生活していける力をつけたいと思います。学校の中の生活だけでなく、家庭生活の中で色々なことを教えないといけないと思います。
- ・今回は何か聞いても「大丈夫だよ」と言っていました。自分で用意をして時間になると「じゃあ行ってきます」と行動していてとても成長したと思います。
- ・事務所の皆さんに暖かく接して頂き、ありがたかったです。
- ・今回、子どもがやってみたくい言う仕事をさせていただいて良かったです。そこで本人の思うことも色々あり、卒業後の事も考えるようになり、3週間の実習は良い経験でした。



たくさんの意見、本当にありがとうございました。今回皆さんの意見を集約させていただき、それぞれの実態に合った支援や気付きをされていることがとても勉強になりました。

それぞれの家庭やお子さんの実態から立場は違うと思いますが、それぞれの親の目が、子どもの成長の気付きや支えていくための発想に繋がっていくと思います。

保護者それぞれの意見を、是非参考にさせていただき、次の実習に向けて各家庭にて、ご支援・ご指導いただけると幸いです。

不明な点や悩みがありましたら、いつでもご相談下さい。



実習先からのご意見(実習協力先へのアンケートから)

地域の皆様からご協力いただき、生徒の職場実習ができます。本当にありがたいことです。

実習を受けるに当たって利益を追求できるわけでも、法令に縛られているわけでもありません。地域の障がいのある子どもたちの成長のために、ご助力いただいているところです。

では、現場の皆様は実習に対してどのようなことを感じているでしょう。皆様からのご意見をまとめました。

1、今回の実習を受けて、良かったことがありましたら教えて下さい。

- ・今年度卒業生が就職しており、実習期間中同じユニットだったこともあり、仕事を教えたり実習生を気遣う姿が見られ卒業生の成長に繋がったと感じている。
- ・出勤、退社時の元気な挨拶は感心しました。最終日には「ありがとうございました」とお礼の言葉をいただきました。
- ・挨拶がとても良く、会社内の雰囲気も良くなりました。見習うことができました。
- ・生徒が一生涯働いてくれて、良かったです。
- ・作業は丁寧かつスピードも速いということが分かりました。
- ・担任の先生から、学校での様子や取組について教えていただき参考になりました。
- ・ご利用の方々が、職員と違う実習生とコミュニケーションが図れ、良かったと思われます。
- ・実習生が来ることで利用者にも刺激になりました。実習生にも学校とは違う作業場の雰囲気を感じて頂けたなら良かったと思います。
- ・今回に限らずですが、利用者さんが手本となる行動がたくさん見られたことがとても良かったです。
- ・集中力があり、真面目な性格の生徒さんでしたので、作業の一工程を丸々と任せる事ができて大変助かりました。
- ・社員が手本となるようとする意識が見えるほど、職場も変わりました。
- ・良い経験になったと思います。
- ・将来を見据えた中で、本人はもちろん保護者も施設側も相手を知る良い機会になっていると思います。
- ・人の手を借りたいほど忙しかったのでとても助かりました。ご協力して頂きありがとうございました。
- ・利用者や職員にとっても良い刺激になり、良い勉強になりました。体調を崩すこと無く実習に参加して頂けて、良かったです。
- ・日頃出来ない作業がたくさん出来て良かったです。(車イス清掃など)
- ・お茶出しコップ洗いを手伝って頂きありがとうございました。とても助かりました。
- ・実習生の心配な面を事前に打ち合わせできていたので体調不良時にもすぐに対応でき良かったです。
- ・現場従業員の指導力向上(指示や監督すること)ができました。)



2、今回の実習を受け入れて困ったこと、不都合なことがありましたら教えてください。

- ・特にありません(8)
- ・8時出社でしたが、現場作業では7時出社ですので、出社時間を従業員と同じ7時前にすれば良かったです。

- ・本来の仕事では無いので、お客様相手ができるかどうか。
- ・実習中はしっかりしなければという意識からか、あまり素直に感じたことを話してくれないので、学校に戻った後「実は～」ということがあれば教えていただきたいと思えます。
- ・本人が思っていた時間に、巡回の先生が来られない日があり、実習生が心配したことがありました。
- ・初めて実習を受け入れる生徒ということもあり、どこまでの支援が必要か分からないこともありました。担当の職員の方に教えて頂けて助かりました。
- ・不都合と言うことではありませんが話し掛けた言葉が、生徒さんにしっかりと届いているか心配になる事が何度かありました。実習で何を感じてもらおうかすごく悩みました。
- ・作業内容を教える際仕事を止めなければならず、多少の遅れが生じる。
- ・どこまで注意をしたら良いか迷ったこと。
- ・職員1名が付いていないと無理かなと思いました。



3、生徒の様子から感じたこと、求めたいことについてご意見下さい。

- ・丁寧な作業を行えていましたが、スピードや仕事量も向上できると良いと思います。
- ・事前の打合せで「対人業務は大丈夫だろうか？」と心配がりましたが、行き帰り事務所に笑顔で挨拶していく姿を見て安心しておりました。
- ・周りが年配なので、話づらいこともあります。少しずつ会話ができていけば、仕事も楽しくなると思います。
- ・分からないことでも「はい」と、返事をする時がありました。再度聞き直すことを求めます。
- ・毎回少しずつ笑顔も増えて、挨拶も出来るようになって良かったと思います。
- ・意見ははっきり言えるので、大きな声で相手の目を見れるとよいです。
- ・学校での取り組みが、生徒さんの成長、発達を伸ばしていると感じました。
- ・今のところはありません
- ・作業はできる方が多い中で、やはり身だしなみや態度、掃除、挨拶が苦手な方がいらっしゃいます。職場に適したそれらを身に付けていければと思います。
- ・今回に限らず、基本となる挨拶がきちんと出来る、また報告がきちんと出来る、伝えられるようになる作業もスムーズに進み、達成感も感じる事が出来ると思います。
- ・生徒さん自身から指示内容の確認、結果報告が出来るようにがんばって下さい。
- ・作業が少しずつ慣れて来た時に寝ると、とてもうれしそうで次の頑張りが見れました。
- ・元気に「おはよう」「ありがとう」の言葉が聞かれることで、お互い気持ちよく1日実習できたことを改めて良い事と感じられました。
- ・高校生活は長いようで短いです。いろいろな経験をいろいろと吸収してほしいと思います。
- ・自分で出来ることは、自分でして貰えるよう、支援していくことの大切さを感じました。
- ・自分が何をしたいのか、何を聞きたいのか、自分の思いなどをどんどん言って欲しかったです。



4、実習中の保護者の対応等で感じたこと、家庭に求めたいことがあれば教えてください。

- ・特別ありません(4)
- ・実習日誌を見て、仕事について親子で話し合っているようなので、大変良いと思います。
- ・生徒、先生、家族の打合せ時に保護者(親)に出席してもらいたかった。
- ・実習ノートには、目を配った方がいいです。(コメントを書いても一言も無い)
- ・日頃より、ご理解ご協力を戴いており、感謝しています。
- ・身だしなみや態度、掃除、挨拶などは家族から伝えることで身に付けられることもあると思います。必要なことや、伝えできたことは、褒めたりしながら応援して頂ければと思います。
- ・働くことの意識をもたせてほしい。例えば生活リズムを整えることが毎日働く上で大切なことの一つであるということ(寝不足だと疲れも一層感じてしまうため)
- ・実習ノートにて、保護者の方とやり取りすることが出来たので、情報の共有がスムーズに出来ました。生徒さんの孤立を心配されたので、こちらの対応もスムーズでした。
- ・毎日の連絡に保護者の方の思いが感じられ、こちら側も気持ちが入りました。
- ・良く対応していただきました。
- ・自分の子どもがどんな企業に実習に行くのか、話だけでは不明な点も出てくると思います。不安な点があれば企業見学をしてみるのもどうでしょうか。当社はいつでも見学できますので来て頂ければと思います。
- ・保護者の方も含めて、利用者さんが成長していけるような支援の統一の大切さを感じました。
- ・子どもの実態や現場の様子を知っておくこと、事務所の人とコミュニケーションを取れるようにしておくことは卒業前にとっても大事なことであり、むしろ就業してからだとかえって難しい様な気がします。実習やジョブの機会を活用して欲しいです。
- ・関心を持って対応して頂いたと思います。

多くの事業所で「受け入れをして良かった」と感じていただきました。見方を変えると、その良かった部分を期待されて、実習を受け入れているとも取れます。現段階で実習を受け入れていただいている事業所は、先輩達が一生懸命に取り組んだ成果でもあります。これから実習に向かう生徒についても、受け入れ先の期待に応えられる準備を毎日の生活の中で身に付けていく必要がありますね。

また生徒にも保護者にも求めたいことについてご意見をいただきました。次の実習へ向けての参考にしていただき、生徒も保護者もそれぞれに合わせた取組をしていただければと思います。



～ 研修・行事のご案内 ～

PTA進路研修(兼 8月の進路教室)

毎年恒例の夏の進路研修が今年も開催されます。講師の方を招いての講演会になります。今回は約15名の保護者の皆様から申込をいただきましたありがとうございました。

就労をする上で知っておきたい情報(求人状況、雇用実績、雇用形態、実際と課題、業種ごとに求められる力)や卒業した後の生活に関わる制度(障がい者基礎年金や成年後見制度)を話題にしての講演です。

下記日程をご確認いただき、ご参加下さい。
改めて「参加したい」と希望される方については、担当者までご相談いただければと思います。

当日のご参加、お待ちしております。

期 日	予定するテーマ内容	講師
8月7日 (金)	・卒業後の就労に向けて必要な力 ・卒業後の生活に関わる制度について ～ 障害基礎年金と成年後見制度～	ハローワーク十日町 所長 佐藤 房雄 様 支援センターあおそら 相談支援専門員 春川さとみ様

<時間> 9:30～11:30

<場所> 第1作業室

十日町掃除に学ぶ会

「県立小出特別支援学校川西分校大会」のご案内

9月26日(土)にPTAの活動とタイアップしながら、校舎内のトイレの清掃活動を計画しています。実習でお世話になっている「(株)村山土建」様を中心とする、「十日町掃除に学ぶ会」が中心となり運営、指導を行っていただけます。
多くの方から参加をお待ちしています。 ※詳細は後日お知らせします。

9月の進路教室の予定

<日時> 9月17日(木)

<内容> 福祉手当や制度、手帳の取得と更新について

<場所> 第2作業室

不明な点があれば、いつでもお問い合わせください。

新潟県立小出特別支援学校川西分校

TEL 025-768-3325

FAX 025-768-3371

担当:進路指導部 細井哲明 佐藤正高

